

教育相談
072-924-3892

情報推進
072-992-3910

研究・研修
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

さわやかルーム室外活動（お別れ遠足）

日時 平成28年3月4日（金）10:00～15:00

目的地 天王寺動物園 あべのキューズモール

適応指導教室「さわやかルーム」は、様々な活動を通じて、自立と集団への適応力を高めていくことで、学校復帰を支援しています。今回は、「お別れ遠足」として天王寺動物園を訪れた後、あべのキューズモールにて外食体験をしました。卒業を控えた中学3年生は、みんなと過ごす最後の行事とあって非常に楽しみにしていました。その期待に応えるように晴天で過ごしやすい1日となりました。天王寺動物園前の芝生広場では、たくさんの幼稚園児たちが遊んでいる姿も見られ、和やかな雰囲気のもと室外活動を楽しみました。

前回の室外活動と同じく、教育サポートセンターからJR八尾駅まで歩き、駅では自分たちで切符を購入しました。自分で切符を買うことにも少し慣れた様子で、運賃を確認すると、スムーズに券売機の操作をする姿には頼もしさを感じました。また、切符を買ったらすぐに券売機を離れて、人を避けた場所でお金を財布に入れる、というマナー面も実践できていました。

天王寺動物園は「生態的展示」という形で、動物の生息地の景観を可能な限り再現した上で、そこに暮らす動物の様子が紹介されており、それぞれに感動や驚きがありました。見学しながら、自然と仲間との会話がはずんでいる様子や、興味のある場所に誘い合って向かう姿に成長を感じることができました。

昼食は、あべのキューズモールのフードコートにて外食体験をしました。たくさんのお店の中から自分で食べたいものを選び、注文して、みんなで食べるということも新鮮な体験でした。行く前から「何を食べよう」と迷っていてなかなか選べない生徒もいましたが、食後に再度スイーツを買いに行く生徒もいて、食欲旺盛な中学生らしい楽しい食事の時間となりました。

電車に乗って出かけるのは久しぶりの生徒もいましたが、仲間との会話や一緒にそろって行動することで、仲間といる楽しさを感じることができ、それぞれの絆が深まった一日となりました。



八尾市初任者研修閉講式

日時 平成28年2月18日(木) 15:00~17:00
場所 八尾市立教育サポートセンター 講座室
目的 新規採用教職員等の研修のまとめとして、この1年間の成果と課題について整理し、新規採用教職員等としての資質と専門職としての知識・技能の一層の向上を図る。

4月より八尾市に赴任した小・中学校教諭、養護教諭、幼稚園教諭が集まり、この一年を仲間とともに振り返り、その上で来年度はこんなことをしたい、ここをがんばりたいという抱負を語りあいました。来年度、大事にしたいことのキーワードを3つ各グループ毎に挙げました。「子どもの気持ち」、「保護者の願い」、「授業力」、「子どもをひきつける手立て」、「見通しをたてる」、「学び続ける努力」、「子どもとの関係づくり」、「計画性・積極性・個性+ちゃんと性」などさまざまなキーワードが各グループから出てきました。グループで話し合い、意見を交流することで、それらのキーワードが新たな年度に挑む自分へのエールとして胸に残ったことと思います。

最後に今年度の初任者の授業を見て助言してきた 河村 昭 初任者指導員による「2年目を迎えるみなさんへ期待すること」の講義の中で、「些事^{さじゆるが} 忍^{しの}せにせず」というお話がありました。受講者は、教室の整理整頓、起立・礼等の規律の徹底、ノートの◎の付け方等、一つひとつ丁寧に気配りすることや子ども理解の大切さなどを、あらためて胸に刻んだようです。受講者の感想には、「班で、悩みや不安、課題などを聞くことで、自分一人だけが悩んでいる、不安に思っているわけではないと感じ、負けていけないな、頑張っていけないといけないなと思えた。」「子どもは自分の気持ちや努力を映す鏡だと感じた。」等がありました。教育現場は常に様々な課題と向き合うところですが、この一年でできた教職員の仲間とともに、力強く、心強く、それぞれの場所で活躍してほしいと思います。



教育情報コーナー 新着図書を紹介

新着図書の一部をご紹介します。1階の教育情報コーナーに置いてありますので、お立ち寄り下さい。

書籍名	出版社
授業のユニバーサルデザインを目指す「安心」「刺激」でつくる学級経営マニュアル	東洋館出版社
アドラー心理学 一人を変えよう思考スイッチの切り替え方	ナツメ社
15歳までに始めたい! 発達障害の子のライフスキル・トレーニング	講談社
若者の貧困・居場所・セカンドチャンス	太郎次郎社エディタス
私のかんもくガール: しゃべりたいのにしゃべれない 場面緘黙症のなんかおかしい日常	合同出版
絵でわかる発達障害のある子どもたちが楽しめる自立活動	東洋館出版社